

参 考 資 料 〈3〉

技術上の基準に対応するチェック表

Ⅲ 液化石油ガス保安規則関係

3. 液化石油ガス保安規則

チェック表は13種類{(1)及び(2)に記載のとおり)となっています。

(1) チェック表の選択

事業所タイプ	条件1 貯槽・導管	条件2 処理量	該当チェック表
製造 消費事業所 充填所 残ガス回収事業所 注1.2.3	貯槽等あり	30Nm ³ /日以上	Ⅲ-01 液石則第6条チェック表(定置式、貯槽有り、30Nm ³ /日以上)
		30Nm ³ /日未満	Ⅲ-05 液石則第13条チェック表(定置式、30Nm ³ /日未満)
	貯槽等なし	30Nm ³ /日以上	Ⅲ-02 液石則第7条チェック表(定置式、貯槽無し、30Nm ³ /日以上)
		30Nm ³ /日未満	Ⅲ-05 液石則第13条チェック表(定置式、30Nm ³ /日未満)
製造 移動式製造 設備 注4 LPGスタンド 注1.2.3	30Nm ³ /日以上		Ⅲ-04 液石則第9条チェック表(移動式、30Nm ³ /日以上)
	30Nm ³ /日未満		Ⅲ-06 液石則第13条チェック表(移動式、30Nm ³ /日未満)
	30Nm ³ /日以上		Ⅲ-03 液石則第8条チェック表(LPGスタンド)
	30Nm ³ /日未満		Ⅲ-05 液石則第13条チェック表(定置式、30Nm ³ /日未満)
貯蔵	第1種、第2種貯蔵所 貯槽タイプ		Ⅲ-07 液石則第23条チェック表(貯槽貯蔵所:第1種、第2種)
	第1種、第2種貯蔵所 バルク貯槽タイプ		Ⅲ-08 液石則第23条チェック表(バルク貯槽貯蔵所:第1種、第2種)
	第1種、第2種貯蔵所 容器タイプ		Ⅲ-09 液石則第24条チェック表(容器貯蔵所:第1種、第2種)
	特定消費事業所(3トン以上貯蔵又は導管)		Ⅲ-10 液石則第53条チェック表(特定高圧ガス消費者)

注1:事業所内に容器置場、導管、地下埋設貯槽のある場合、該当のチェック表も添付すること。

ただし、Ⅲ-09 液石則第24条チェック表(容器貯蔵所:第1種、第2種)は当該容器置場チェック表の添付不要。

注2:上記については、申請設備と一体の容器置場等に限り、申請設備と別の独立した容器置場等は含みません。

注3:①特定事業所(コンビ則適用) ②液化石油ガスの分離・精製のための設備 ③液化石油ガス以外の高圧ガス生成の原料の液化石油ガスは液化石油ガス保安規則の適用範囲外であり、このチェック表は使用できません。

注4:駐車場所は容器置場であり、容器置場のチェック表を添付すること。

(2) 補助チェック表

上記注1のチェック表は、次の補助チェック表のことで。

容器置場チェック表	Ⅲ-11 容器置場チェック表(液石則第6条第1項第35号)
導管チェック表	Ⅲ-12 導管チェック表(液石則第6条第1項第36号)
地下埋設貯槽チェック表	Ⅲ-13 埋設貯槽チェック表(液石則第6条第1項第5号)

(3) 記入方法

カラーで見ると様式の「対応状況」欄は記入すべき箇所が水色又は黄色になっています。

水色:リスト選択、黄色:直接記入で記入することができます。

液石則第6条チェック表(定置式、貯槽有り、30Nm ³ /日以上) 設備の技術基準			見本
技術基準の内容(関係条文及び例示基準)		適用の有無*1	申請者(事業所)の対応状況
条文	例示基準等		
6条1項1号			①の状況 []

「適用の有無」 新規製造許可又は施設増設の変更許可においては、「有」か「無」のどちらかを選択(記入)します。その他の変更許可においては、「有」、「無」、「変更無し」のいずれかを選択する。

なお、「無」又は「変更無し」を選択した場合には、該当条項欄全体が暗転するようになっています。

「参考図面No」 申請者(事業所)の対応状況が確認できる図面を別途添付し、空白()内にNoを記入。

(4) 参考図面について

場合によっては、一枚の参考図面に複数の内容を記載することが可能です。

例えば、敷地境界線の図面に保安距離や火気取扱施設の状況を記載可能な場合は、それぞれの図の下の()内に同じ番号を記入して一枚の図面とすることができます。

また、その図面中に記載して明らかとすべきポイントは次の表のとおりです。

図面記載内容について(参考)

* 事業所内の工場建家等の配置図面(レイアウト図面)を別途添付し、申請する高圧ガス設備の位置を明示する。
 また、高圧ガス設備とその周辺の平面図中に主要設備(貯槽、気化器、圧縮機、ポンプ等)を明示し、その図中に下記の表中に記載する、保安距離、散水設備操作位置、消火器設置場所、ガス検知機位置等なるべく多くの要素を記載し、図面枚数を少なくすると合理的である。

表.添付図面作成の留意事項
 (* 液化石油ガス保安規則第6条第1項)

号*	図面名称	図面に記載し確認すべき内容・参考事項等
1	敷地境界線	隣接地域を含めた当該事業所の敷地境界の位置 境界線の明示措置の内容(柵、塀等の施工状況)
2	1号 警戒標配置図	記載内容別の警戒標の設置場所(事業所出入口、高圧ガス設備の周囲)
3	警戒標図	高圧ガス製造設備の位置及び設備周囲の柵等の状況 高圧ガス製造設備の警戒標の標示内容「立入禁止」「火気厳禁」等
4	保安距離図	貯蔵設備及び処理設備から敷地境界までの距離 周辺の保安物件の種類(1種・2種の区分、名称)及び距離
5	障壁構造図	障壁種類、高さ、厚み、配筋、補強、支柱の措置内容
6	2号 散水等配管系統図	散水等配管敷設状況(総延長、立上り高さ等圧力損失の計算が可能なもの)
7	3号 散水ノズル等設置図	ノズル等の配置状況(必要個数以上設置されていること及び均一に散水等ができることを確認)
8	操作位置図	操作位置(5m以上の場所及び事務所内)
9	貯水槽位置図	貯水槽、ポンプ等の設置場所
10	貯水槽構造図	貯水槽の各部の寸法
11	7号 火気施設図	火気取扱施設(非防爆電気含む)の名称と離隔距離 流動防止措置を行う場合は迂回距離の測定結果
12	障壁図(平面・立面)	障壁又は防火戸の区分、設置状況平面図、高さを記入した立面図 製造設備と火気取扱施設の距離、不燃性建物の出入口位置、出入口の2重扉の状況 製造設備と火気取扱施設の距離、不燃性建物の窓位置、防火戸、網入りガラスで閉鎖している状況
13	貯槽配置図	貯槽直径及び貯槽間距離
14	8号 散水等配管系統図(タンク間緩和) 散水ノズル等設置図(タンク間緩和) 操作位置図 貯水槽位置図 貯水槽構造図	6から10に同じ。 *ただし、操作位置は対象から15m以上の場所及び事務所内 また、有効な遮蔽措置を行う場合はその状況
15	消火栓配置図(タンク間緩和)	対象設備と消火栓の配置、貯槽からの距離(40m以内の確認) 消火栓ホース延長状況(いずれの方向からも放水可能な状況)
16	10号 防液堤設計図	貯槽位置及び防液堤設置位置、まじきりのある場合はその位置(平面図) 防液堤の容量計算に必要な防液堤各部の寸法測定結果 まじきりのある場合は、断面図等によりまじきり高さが確認できること 出入口の設置位置 防液堤の配管等貫通部の漏洩防止施工・防食施工状況(拡大図) 防液堤の滞水排出措置状況 地下式、保有空地で対応する場合は、その場合の基準が確認できる事項を別図に記載
17	11号 施設配置図	防液堤内及び周辺の設備設置状況(設備名:配管、計装設備含む)
18	12号 換気口図面	対象建家の内部各部の寸法、換気口の位置(平面及び立面)及び寸法
19	12号 換気装置図	排気口及び放出口の施工状況(排気口:床面近くに設置、放出口:地盤面から5m以上) 強制排気:排気管内のガス検知器設置位置
20	15号 基礎建築図面	貯槽の支柱等が同一基礎への緊結されている状況(アンカーボルト)
21	16号 ベンチマーク位置図	ベンチマーク等の位置及びそれがあある場所の建築物等の名称
22	測定点図面	貯槽の支柱等に設けた測定点の位置
23	17号 配管系統図	配管系の常用圧力及び設計圧力と弁、安全弁、圧力計等の位置及びそれらの管理用タグナンバー等(機器一覧と照合ができること)
24	22号 放出管図	放出管施工状況(位置、高さ)、周囲の建物状況、火気等の状況(特に付近に火気がある場合は、離隔距離を明示)
25	24号 液面計構造図	液面計設置状況及び接続配管、バルブ等状況(ガラス式のみ)
26	25号 配管系統図(貯槽バルブ)	23配管系統図に設置位置表示
27	26号 施設配置図(操作位置)	散水設備等の操作位置図等に緊急遮断弁操作位置も併せて記載
28	26号 配管系統図(緊急遮断)	23配管系統図に設置位置表示
29	27号 電気設備配置平面図	電気設備の名称、高圧ガスの通る部分から該当電気設備までの距離関係及び防爆タイプ(記号可)*11火気施設図中に記載可能
30	28号 散水等配管系統図ほか	*8号基準の説明参照 ただし、消火栓は2方向以上から放水可能な状況
31	29号 ガス検知端末設置図	屋内外の設備群の周囲の長さ、ガス検知端末の位置(平面図中及び地盤面等からの設置高さ)
32	29号 ガス検警報場所図	設置位置及びその場所の名称又は用途の分かる説明
33	31号 散水等配管系統図ほか	*8号基準の説明参照
34	31号 消火器配置図	設置場所、能力単位、本数

容器置場関係

号*	図面名称	図面に記載し確認すべき内容・参考事項等
35	施設配置図*保安距離	事業所内の各施設配置中の容器置場位置、敷地境界線までの距離 置場距離の区分(L1,L2等)及び周辺保安物件の状況(敷地内確保の場合は不要)
36	容器置場平面図	置き場内の充ビン、空ビン区分、通路の状況 火気制限2mの線引き及び直近の火気の状況*施設配置図に記入も可
37	35号 容器置場立面図	障壁高さ(壁の寸法)、屋根の状況、換気口の位置(床に接している状況) 換気口面積算出のための寸法、転倒防止の状況
38	障壁図(容器置場)	*3号基準の説明参照
39	容器置場標識図	設置場所、記載内容(拡大図)*上記容器置場立面図に記載可
40	消火器配置図	設置場所、能力単位、本数
41	2階建容器置場構造図	関係基準の確認できる図面*上記の各図面参照

導管関係

42	36号 導管敷設図	全体図(導管の最初のガス発生設備から消費等最終場所) 導管の径、標識設置場所、埋設、海中、架空等状況 建築物の敷地内を通過等する場合は当該建築物の名称、敷地内導管の設置状況 建築物の基礎の位置と導管の通過場所の関係
43	導管フロー図	*17号基準の説明参照
44	導管標識図	表示内容の確認できる拡大図
45	導管埋設等図	埋設等の場所の状況、埋設等の状況の確認

埋設貯槽関係(強制排気方式)

46	5号	貯槽室構造図	室の各部の寸法、壁等厚さ、壁等表面の浸水対策状況、孔の位置 孔及びプロテクタの状況(拡大図) 底部の勾配状況、溝・集水升の位置及び寸法
47		貯槽設置図	貯槽室に設置した状況図(平面及び立面)、貯槽外面と壁等の間隔の寸法 複数貯槽の場合は、貯槽間の距離
48		基礎、側壁等設置状況図	貯槽室と貯槽の間隔の寸法 *貯槽設置図に記載可
49		基礎、側壁等構造図	基礎等に係る荷重等を計算するための各部の寸法(計算書使用数値と整合すること)
50		ガス漏洩検知警報設備設置図	検知端末設置位置、警報部設置場所*29号基準の説明参照
51		強制換気設備図	貯槽室床面の寸法、装置停止時警報又はランプ点灯場所、稼働表示点灯場所 手動スイッチ場所
52		換気筒内部点検用のぞき穴図	設置場所
53		排出口位置図	地上高さ、周囲の障害物状況(通風の状況)及び火気の状況
54		空気取入口図	地上高さ、排出口からの距離、雨水等の侵入防止状況
55		ガス漏洩検知警報設備設置図	排出管内の設置位置